

# ダリア新品種の切り花輸出を想定した切り前時期が 日持ち期間に及ぼす影響

福島県農業総合センター 作物園芸部 花き科

## 1 部門名

花きーダリアー流通

## 2 担当者名

熊坂京

## 3 要旨

ダリアは、切り花の輸出において日持ちが短いことが問題となっている。そこで日持ち性が向上した品種「エターニティルージュ」、「エターニティロマンス」を用いて、切り前時期を変えて輸出を想定した輸送処理後の日持ち期間を調査した結果、通常切りが約8~11日、蕾切りが約10日~13日となり、蕾切りにより日持ち期間が長くなることを確認した(表1)。

- (1) 収穫後の切り花を60cmに調製し、球根切花用前処理剤で一晩水揚げを行った。切り花を5本/束でスリーブ包装し、切り口に切花用保水ゼリーを装着し横箱に梱包した。
- (2) 中国への輸出試験の結果に基づき、長時間輸送を想定し、温度20°Cの保冷庫で3日間保管した。その後バケツに入れ替え、店舗保管期間として15°Cの保冷庫で2日間保管した後、日持ち調査を実施した。日持ち調査期間中の活け水には消費者用後処理剤を使用した。
- (3) 両品種で開花の進みに従い花色が薄くなり、その傾向は蕾切りで強く現われた(図1)。

表1 切り前時期の違いによる開花特性(2024)

品種	切り前時期	日持ち日数 (日)	最大花径 (cm)	最大花弁列 (列)
エターニティルージュ	蕾切り <sup>1)</sup>	12.5	11.9	11.5
	通常切り <sup>2)</sup>	10.7	11.7	12.1
		*	n.s.	n.s.
エターニティロマンス	蕾切り <sup>1)</sup>	10.1	11.4	9.9
	通常切り <sup>2)</sup>	8.7	12.9	10.9
		*	*	*

1) 花弁着色未展開の状態で収穫。

2) 6~7分咲きの状態で収穫。

※ t検定により、\*は5%水準で有意差があり、n.s.は有意差がなし。(n=15)

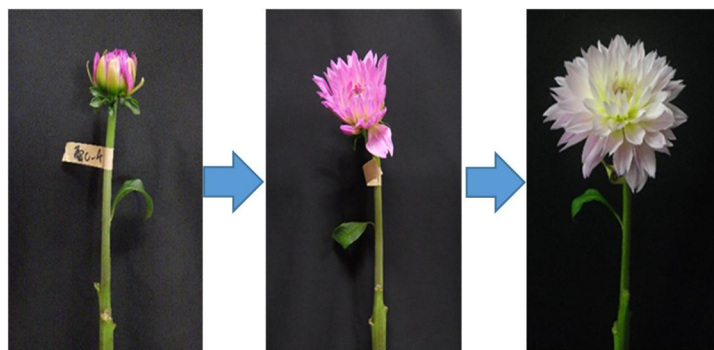


図1 開花状況と花色の変化(2024)(エターニティロマンス 蕾切り)  
※鑑賞期間到達時は外花弁5列が90°以上展開した時とした。

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和5~6年度
- (2) 研究課題名 県産農産物の輸出拡大に向けた生産〔花き輸出体制構築支援事業〕

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 「蕾切りダリアは通常切りとほぼ同等の日持ちを確保できる」(令和4年度参考となる成果)